

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院藏)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788
本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乗院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

AIと布教

一口法話

AIという言葉がよく知られるようになってしばらく経ちますが、皆様はAIとはどういったものかご存じでしょうか？ AIとは人工知能のことで、人間の脳の働きである物を学び、考え、予測や判断を行い結論を導き出す事をコンピューターで再現する技術のことです。

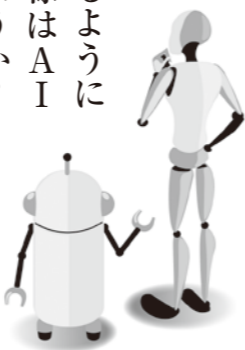
特に昨今では生成AIというコンピューターに指示をいれ、目的の文章や絵を作ってもらったり便利なものがあり、だれでも簡単に自分の思い描くものが生成できるようになりました。

ただ、簡単に表現できるが故に、その人が本当に思い描いたものなのか、生成AIによって表現してもらったものなのか判別しづらく、作る側も見る側も問われる時代にもなりました。

『大智度論』という仏教の注釈書に「知目行足」という教えがあります、これは悟りを得るためには、知識(目)と修行、経験(足)の両方が必要だという教えです。

我々僧侶は皆さまに仏教の教えを広める布教をするにあたって、思いを伝えるためにもたくさん知識を自分の目で観て、どのようにこの教えを上手に表現できるかを自分の足で探し、修行を行い経験を積んでいきます。

これからの時代AIは確かに必要です、だからこそAIに頼るときは慎重に自分の知識や経験と照らし合わせながら使いこなしていきましょう。



毎月第二日曜日午後二時より釈迦堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺見どころ

手水鉢

江戸時代中期の宝暦四年(一七五四)二月十八日、餘慶寺の秘仏である観音さまとお薬師さまの御開帳が盛大に行われ、のべ四十一日間で三万人を超える参拝者が上寺山を訪れました。：今から二百七十二年前の出来事です。

当時、餘慶寺の東向き観音さまが池田の殿様の夢枕に現れ、病気を回復させたという霊験談が広まり、加えてお薬師さまの眼病平癒のご利益とあわせ、さぞかしおかげををいただいた御開帳だったと思われまします。

その時に設置された手水鉢。正面には「餘慶寺」、対面には「上寺山」、側面には「宝暦四年二月十八日」と彫られています。

仏さまへお参りする前に、まずは本堂前で手をすすぎ身を清めましょう。

ほう 暦 四 甲 戌 閏 二 月 十八 日



よけいじ寺子屋だより 会場：餘慶寺会館(十四時) 寺子屋写真館

今後の予定

- ☆「伝教大師の想い」 六月十四日(日) 講師 定光院住職 西野祐聖 師
- ☆「仏教講座」 七月十二日(日) 講師 惠亮院住職 土井内祐真 師
- ☆「仏教講座」 九月十三日(日) 講師 圓乗院住職 西野祐誠 師

※どなたでも聴講できます。(無料) お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

又、八月は お盆期間中のため、寺子屋はお休みします。

編集後記

梅雨を感じる前に夏を感じる日が多くなりましたね、編集の祐聖です。五月の爽やかな晴れの日ですが、実は五月晴れと云いませう、実は五月晴れの五月とは旧暦の6月の事で、梅雨の時期に見られる晴れ間のことを五月晴れと云い今と昔では言葉の意味合いが変わってきております。

しかしここ最近では、爽やかな暑さというより、ただ暑い日が続いております。積善が皆様のお手元に届くころには、きっとシトシトと梅雨の頃になっているかと思いますが体調には、くれぐれも気を付けてお過ごしください。 合掌

3年間の感謝の気持ちをこの一打に! 場所:餘慶寺境内

岡山学芸館高校 和太鼓部 3年生ラストコンサート

7/19日 16:30~17:30

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂) 毎月8日 午前10時~(8月はありません) 護摩祈禱をしています。ご祈禱のお申し込みは随時納経所で受け付けています。

観音縁日(於 本堂) 毎月18日 午前8時~ みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。



餘慶寺×西大寺コラボ企画

両界マンダラ三重塔巡り

五月詣
ご報告



餘慶寺と吉井川を挟んだ西大寺観音院の両寺院にて合同企画イベント「両界マンダラ三重塔巡り五月詣」が五月五日、六日に行われました。

餘慶寺と西大寺の三重塔は同じ邑久の宮大工集団が建てた力作で、両寺院の塔のご本尊、大日如来(西大寺は胎藏界、餘慶寺は金剛界)の功德を授かる両界マンダラ三重塔巡りを開創し令和元年より様々な企画を行ってきました。

例年に引き続き参拝に來られた皆様の夢や平和への祈りを寄せ書きした夢鯉のぼりの掲揚や境内の手水舎や蓮鉢に花を浮かべる花手水といった企画の他にも大声測定器を使った「厄を飛ばせ大声大会」「お寺DEライブ」等様々な催しがあり大勢の方に來山していただきました。



また、天台宗公式キャラクターのしょうぐうさんが境内を散歩して子ども達に大人気でした。

餘慶寺、西大寺はこれからも皆様と共に祈り続ける寺院であるように日々精進してまいります。 合掌

寺遊びinよけいじ
のお知らせ

上寺山餘慶寺では、子どもたちにもっとお寺を身近に感じてもらうとともに、お寺での遊びを通して、子どもたちの個性豊かな感性を育む「寺遊びinよけいじ」を開催します。



スタッフのお坊さんたちが心をこめてお世話させていただきました。夏休みのすばらしい思い出をいっしょに作りましょう！

7月22日(水)開催!

※詳細や申し込みについては後日募集チラシ、餘慶寺公式HPにてお知らせいたします。

餘慶寺 水まつり

今年も八月最終土曜日(八月二十九日)の十八時より、恒例の水まつりを開催いたします。まず「施餓鬼会」法要では、三界万霊、すべての命を供養し、その功德がご先祖様やご家族、自らにも分け与えられます。餘慶寺の各院僧侶がおつとめをし、ご参拝の皆様も、本堂に設置された水棚に進んで経木塔婆の供養をしていただきます。

引き続き「万灯会」がとり行われます。境内は、供養の灯りで幻想的に照らし出されます。

夏の終わりは、ご家族お揃いで上寺山餘慶寺へ、お参りください。



古い塔婆のお焚き上げや、古い盆提灯の供養もしていますので餘慶寺本堂へお持ちください。